

1 研究主題

教育の情報化を目指す学習指導の研究と実践

2 実践活動

(1) 市教育研究集会

- ① 日 時 平成28年4月15日(金) 14:10～15:10
- ② 場 所 八幡浜市立八代中学校
- ③ 内 容
 - ア 役員選出
 - イ 今年度研究主題について
 - ウ 研究計画の作成

(2) 夏季実技研修会

- ① 日 時 平成28年8月3日(水) 13:30～16:00
- ② 場 所 八幡浜市立保内中学校
- ③ 内 容

ア ラインズeライブラリの研修

- ・ ドリル教材や図鑑・百科事典などの様々な教育コンテンツを専用サーバから受信して利用するサービスであり、基礎的・基本的内容の定着と分かる授業作りに効果的に活用できる。
- ・ ドリル学習では、国語、算数・数学、理科、社会、英語の問題が、小・中学校合わせて約 60,000 題ある。また、ランダムに出題されるので、繰り返し学習ができたリ、他の学年の問題にも挑戦したりすることができる。
- ・ 履歴ドリルでは、理解度に合わせたレベルの問題があり、児童生徒が自分のペースで学習することができる。わからないことをすぐに調べることができたり、学習結果が履歴としてサーバに蓄積され、教師がクラスや個人別に成績管理したりすることができる。
- ・ プロジェクタ教材では、教科書の単元に沿った提示教材があり、授業で効果的に使えるものがある。



イ SKYMENUのソフトウェアを使った研修

- ・ 教師が資料の提示に使用したり、児童生徒一人一人やグループで使用したりすることができる。
- ・ 生徒への調査を行う場合、調査項目の作成、配布、自動集計ができる。
- ・ いろいろな授業支援の機能があり、すぐに使えるツールが多くある。
- ・ 手で児童生徒の画面を確認したり、活動の状況を把握・サポートしたりすることができる。

ウ タブレット端末を活用した授業研修

- ・ 前時の学習内容を簡単に振り返らせ、次時への意欲を高める活用方法が効果的である。
- ・ 4つのタブレット端末を組み合わせることで、協働学習することが簡単にできる。個別で使用したり、グループで使用したりと使用内容に広がりがある。

3 成果と課題

学校に導入されているソフトウェアの効果的な活用方法を学ぶことができた。ドリル学習を積極的に活用することで、基礎的・基本的内容の定着に効果が上がることを再確認した。また、SKYMENUを効果的に使用することにより、生徒の理解を深め、活動のサポートができることがわかった。現在コンピュータ室に導入されているソフトウェアを十分に活用した指導が、情報・視聴覚教育部員の教員にとどまらず、より多くの教員が活用できるように各校で一層の研修を進めていくことが求められる。

本市は、タブレット端末の学校への組織的な導入にまだ至っていない現状にある。今後は、タブレット端末等を始めとする新しい情報機器の活用方法について、一層の研修を積み上げていくとともに、他市町の導入状況や活用効果の情報を収集し、本市の教職員の意見をまとめるなどして、タブレット端末の活用の効果を研究していきたい。